

地質ニュース

昭和 55 年 6 月

第 310 号

1980

解説	昭和 55 年度の地質調査所の研究①……………企画室・6 ～特別研究など～
	東海地方東部における 地震予知のための地下水観測システムの完成について…藤 完 池田喜代治 村下敏夫…13 須山 敏 杉 山 雄 一
	大嶋 和雄 技官研究功績者表彰を受ける ……山 田 敬 一…30 横田 節哉
海外事情	ハワイ・キラウエア火山(その1)……………松 久 幸 敬 久村 弘 二 須藤 茂 32 會 屋 龍 典
	メキシコの石油資源(1)……………竹 田 英 夫…42
	ソ連のモリブデン鉱床②……………岸 本 文 男…54
	昭和 55 年度地質調査所研究発表会について……………企 画 室…61
	地質調査所発行の各種地質図……………資 料 室…62
	江 住 E S U M I ……立石雅昭ほか10名…64

口 絵 四国西南端の無人島探検

甲 藤 次 郎

編集 地質調査所

表紙の写真

盛夏のクレイターレイク

米国 Oregon 州 Cascade Range の Crater Lake 国立公園はその名をとったクレイターレイク型陥没カルデラの標式地としてあまりにも有名である。輝石安山岩を主とする Mazama 火山頂部のカルデラは径 8-10km で 米国最深淡水湖 水深 610m の Crater Lake をたええる。青く清澄な湖面は標高 1,880m 余り。

カルデラ西縁の Discovery Point から北東を望む写真中央 湖面からの高さ 230m 余の噴石丘をもつ島が輝石安山岩からなる Wizard 島で湖西端に位置し 唯一湖面下に没していない後カルデラ丘である。島には樹令約 800 年の樹木が生ずる。

背後のカルデラ壁左寄りの高まりは インディアン伝説に名高い Llao Rock で 湖面からの高さ約 570m。山体形成最後期の厚いガラス質のデイサイト溶岩で かつて高度 3,600m を越えたと推定される Mazama 火山の氷蝕谷を埋めたことが その基底部のカルデラ壁中腹に U 字谷断面として明瞭に認められる。

標高 2km をこえるカルデラ壁の上は 真夏とはいえ日差しのみが強烈で 肌寒く 残雪も消えてはいない。約 7 千年前 Klamath インディアンの祖先が遭遇した カルデラ形成直前のデイサイトマグマを主とする破局的な大噴火により 軽石流・岩滓流に先行して 速く 900km をこえてカナダにまで積灰した大量の Mazama ash が噴出したことなど まるでなかったかのように 今は小リス達のたわむれる静けさだけがそこにある。
(写真 文 三村弘二)

発行 株式会社 実業公報社